



けるような方法を考えたい。
今後の有効活用のために、地

A できるだけ市民のみならずが有効活用していただ

Q 公共施設の中には、活用されていないものもあるが、その活用は。

快適生活のための機能と自然あふれる生活空間が共生するまち

A 平成17年度で調整し、平成18年度から行政連絡員制度に移行する。一定の方向が出たら各自自治会と協議をしたい。

Q これまでの自治会補助金はなくなるのか。
A 自治会長報酬、補助金は、平成17年度で調整し、平成18年度から行政連絡員制度に移行する。一定の方向が出たら各自自治会と協議をしたい。

検討した後、本庁へ送付、次年度予算で対応するなど、整理・回答していく。

市民が主役の自治のまち

Q これまでのように行政にやってもらうというのではなく、市民全員で雲南市を作っていくのが大切では。
A 市民のみなさんが自分たちの力でやっていくという

う気持ちで行動されることが望まれ、そういう意味で私たちの生活拠点に地域自主組織を育てていかなければならない。

Q 地域委員会は、自主組織の相談役と聞いたが、ほかにどんな役割があるのか。
A 地域委員の役割については多種多様なものがある



みんなで作る雲南

市民と行政の協働による新しいふるさとづくり

市政懇談会における意見・質問の概要

5月9日から6月2日にかけて、市内34会場で平成17年度雲南市市政懇談会が開催されました。

懇談会は、市側から平成17年度の主要施策や予算の説明と、それを受け、みなさんから幅広いご意見、ご提案をいただく場、また、市民と行政の直接対話の場として開催されたものです。

懇談会には、2,150人（大東町528人、加茂町299人、木次町502人、三刀屋町432人、吉田町100人、掛合町289人）のみなさんの参加がありました。

ここでは、意見や質問への回答や貴重なご提言についての概要を、市のめざすまちづくり施策ごとに紹介します。

り、各地域委員会にはそれぞれのやり方があると思われる。相談役以外にも、各地区の地域委員会の横の連絡体制なども構築していかなければならない。

Q 自主組織や地域委員会、公民館やまちづくりグループ等を中心に意見を出していくことだが、現在の議

会の立場は。
A 議会には議会の責務がある。議会と行政だけでは今の社会に合わない。パブリックコメント制度も導入し、議会・市民・行政一体で、市民の声を議会とすり合わせながら市政運営を進めたい。

Q 地域委員会のメンバーが入っていない。振興会の方も中に入れてほしい。
A 地域委員会委員は公募によるものであって、団体を代表して出るものではない。

町全体を見渡して、まちづくりについて地域のみなさんの意見をどう集約して、どう反映させるか、あるいは、提言していただくかという点を考慮した組織である。

Q 地域振興補助金についてだが、以前から自治会で行っていた活動は補助対象にならないのか。
A 今までの補助金ありきから脱却し発想の転換をはかっていたら、自らの地域を考えていただきたい。そして、従来からの活動も含め将来的に発展するよう地域活動を検討いただきたい。

なお、地域振興補助金は、最終的に地域委員会で決定される。

Q 地域要望の取り扱いはどのようにするのか。
A 地域要望については、7月末までに取りまとめ、要望として総合センターへ提出していただき、各地域委員会で

誰もが健やかに安心して暮らすまち

Q 近年、自然災害が多発している。雲南市は特に山間部が多いので山崩れ、地すべり等、大きな災害となると思われる。他の自治体では救出にあたり、地域住民が一体となり、対応にあたったと聞く。こういった体制も大きな備えと感したが、市の防災計画の状況は。
A 現在、緊急の出勤体制はとれるものの、地域防災計画は今年度中の策定を考えている。その中では地震、風水害、原子力等への対策を盛り込むこととしている。

特に地震については震度4で出勤し、助役の判断で対策会議を招集し、さらに被害が甚大な場合は市長の判断で動員をしていくこととしている。

さらに、地域社会の連携を大事にしていくことも大切だと考えている。

また、防災計画の策定と平行して雲南地域1市2町での総合防災訓練を9月に実施したい。

Q 雲南病院の医師の確保をお願いしたい。



研修医制度ができてから医師不足が深刻化している。県内の各病院はどれも同じ課題を抱えており、県と協力しながら確保の努力をしているところである。

地域医療を守っていくというのは非常に大きな課題である。消防等の緊急体制とも併せて市民に安心してもらえる努力をしていきたい。

Q 固定資産税、法人市民税を早急に均一課税にして欲しい。また、全納報奨金を廃止された理由と経過は。
A 雲南市の一体性や負担の公平性から考えると不均一課税は3年以内に解消していきたい。

全納報奨金制度は、納税意識・収納率の向上等の目的があったが、制度の意義が概ね達成されたことから、全国的に廃止の傾向である。



Q 定住対策としてなるべく早い時期に住宅団地を造成する予定はないか。
A 雲南市は人口5万人をめぐらしている。そのために住環境の整備は非常に大切だと考える。市全体として財政状況を勘案しながら宅地造成をしていきたい。

安心して老後のことが考えられるよう、市で墓地公園を検討されてはどうか。

A 必要性については、これから考えていかなければならないと思うところ。



Q 市の畜産振興に対する考えを説明してほしい。

A 雲南市では、雲南市ならではの「山地畜産」を推進し進める考えである。

繁殖和牛飼育農家の減少により子牛生産も減少し、肥育素牛の確保が困難になりつつあるが、吉田町上山地内に50頭規模の和牛繁殖基地を建設・整備し、しまね和牛の元牛を育てていく予定である。

Q 産業振興センターでは、企業誘致、既存産業の活性化、企業間ネットワークの構築等があるが、何に重点を置くのか。

A 産業振興センターを設立した場合、すぐに企業誘致ができ、雲南市の活性化に繋がるといわけではない。企業

また現在、類似団体についても合併したため比較できない数字となっている。

定員管理計画を策定した上で、提示したいと考えている。



また、合併協議会で協議決定し、各町村議会に報告・承認を得た事項であり、平成17年度から全納報奨金を廃止した。

Q 税金の滞納額はいくらか。また、滞納者への対応は。

A 税金の滞納額は、平成16年10月末で1億7千600万円ある。市では、収納方針を策定、収納率の向上をめざしているほか、島根大学との包括協定を結び、無料法律相談などを実施していく。

組織を残しながらその上に全体の組織を作るべきなのか現在検討しているところである。

合併を機会に、人権教育人権啓発を進めるべきであるとの考えから教育と啓発を併せ持った人権センターを設置した。今までの活動、啓発を引き継ぎながら雲南市の拠点として発展的に構築していきたい。

ふるさとを愛し 豊かな心を育む 教育と文化のまち

Q 税金の滞納額はいくらか。また、滞納者への対応は。

A 税金の滞納額は、平成16年10月末で1億7千600万円ある。市では、収納方針を策定、収納率の向上をめざしているほか、島根大学との包括協定を結び、無料法律相談などを実施していく。

Q 雲南市の人権施策、人権同和推進協議会組織はどうなるのか。

A 雲南市では、全体の同和教育推進協議会を立ち上げた方がよいのか、旧町村の同

組織を残しながらその上に全体の組織を作るべきなのか現在検討しているところである。

合併を機会に、人権教育人権啓発を進めるべきであるとの考えから教育と啓発を併せ持った人権センターを設置した。今までの活動、啓発を引き継ぎながら雲南市の拠点として発展的に構築していきたい。

Q 高校再編・小学校の統廃合について雲南市の考えはどうか。

A 高校再編は県の施策である。大東高校・三刀屋高校それぞれ特性、特徴が違う。市としては両校存続するよう要望したい。

また、小学校の統廃合については、現在市内25校中12校に複式学級がある。少人数のメリットもあるが、スポーツ少年団など集団活動ではデメリットがある。子どもにとって何が一番大切か考え、また地域の理解が得られた段階で検討していく。

Q 市では子どもの居場所づくり事業を行うよう



であるが、その際には、行政主導ではなくぜひ親の声もきいてほしいし連携づくりをお願いしたい。

A 雲南市の不登校児童は約70名と県内でも高い。各学校にスクールカウンセラーを派遣し対応を行っている状況である。

居場所づくり事業についても国からの交付金を受け、市内全域の小・中学校・公民館・図書館など40箇所を実施する。すべ

また現在、類似団体についても合併したため比較できない数字となっている。

定員管理計画を策定した上で、提示したいと考えている。

Q 人件費削減だけでは、職員の意欲志気が落ちることが必要なのではないか。また、職員の定数は適切なものか。

A 行財政改革のひとつとして職員による一人一提案を募集し、取りまとめを行っているところである。

また現在、類似団体についても合併したため比較できない数字となっている。

定員管理計画を策定した上で、提示したいと考えている。

Q 人件費、職員数を今後どのように削減するのか。また一般職員の賃金カットもあるのか。

この他にも懇談会へ参加していただいたみなさんからのご意見やご提言を新しいまちづくりを活かしていきます。

懇談会へ参加していただきありがとうございます。

Q 新市庁舎の建設はどういう方向で検討されているか。

A 市庁舎については、合併協議で建設場所は3つの候補地と合意されている。新築の場合、どこを選択するのか議論することとなる。厳しい財政状況の中で、合併後10年以内に結論を出す方向である。

Q 近年問題となっている少子化に歯止めをかけ改善する必要があると思う。結婚相談員、見合いイベント、出産助成祝い、子育て支援といったような一貫した取り組みが必要ではないかと思う。

■文化財所在地や伝承ある土地、名勝等への説明看板や案内板等を設置すれば、その土地・物件に関して地域の文化の継承や意識啓発にもつながるのではないかとと思う。

■地域の一体化のため、市民の心をつなぐ方法として、キャッチフレーズが必要なのではないか。

■いのちと神話が息づくふるさとづくりとは「いのち」は子どもが多くいるような町、

この他にも懇談会へ参加していただいたみなさんからのご意見やご提言を新しいまちづくりを活かしていきます。

懇談会へ参加していただきありがとうございます。

Q 新市庁舎の建設はどういう方向で検討されているか。

A 市庁舎については、合併協議で建設場所は3つの候補地と合意されている。新築の場合、どこを選択するのか議論することとなる。厳しい財政状況の中で、合併後10年以内に結論を出す方向である。

Q 近年問題となっている少子化に歯止めをかけ改善する必要があると思う。結婚相談員、見合いイベント、出産助成祝い、子育て支援といったような一貫した取り組みが必要ではないかと思う。

■文化財所在地や伝承ある土地、名勝等への説明看板や案内板等を設置すれば、その土地・物件に関して地域の文化の継承や意識啓発にもつながるのではないかとと思う。

■地域の一体化のため、市民の心をつなぐ方法として、キャッチフレーズが必要なのではないか。

■いのちと神話が息づくふるさとづくりとは「いのち」は子どもが多くいるような町、

まとめ

Q 学力向上対策についてどのように考えているか。

A 学力向上対策として、これまでどおりの基礎学習の充実、少人数教育を進め市内全域に広めたい。総合的学習も「ふるさと学習」として推進して、雲南市の豊かな自然や風土、自然と文化、地域の人々のやさしさや誇りを伝えていきたい。

Q 雲南市文化協会の設立を検討してほしい。

A 文化協会については、未設置の旧町村もあり、一本化をめざして検討しているところである。

Q 個人情報保護法が施行となったが、これについて雲南市はどういう対応をされるのか。

A 雲南市では、合併時より個人情報保護条例を制定しており、この条例に準じ個人情報の取り扱いを行っている。

Q 中山間地域総合整備事業の採択の見通しは。

A 中山間地域総合整備事業については、平成18年度の事業実施をめざし努力中である。国・県の財政難から受益者負担はそのままに、事業費を半額の15億円程度に縮小し、1期工事として事業採択してもらい平成18年度から実施の予定である。

多様な地域資源を活かした産業が 発展するまち

の小・中学生対象に放課後・週末を利用して、異なる年齢の友達・地域の大人との交流を通して、たくましい子どもとなるようめざしたい。また同時に、子どもたちの生きる力、感性を磨いていきたい。

Q 子どもの学力向上対策についてどのように考えているか。

A 学力向上対策として、これまでどおりの基礎学習の充実、少人数教育を進め市内全域に広めたい。総合的学習も「ふるさと学習」として推進して、雲南市の豊かな自然や風土、自然と文化、地域の人々のやさしさや誇りを伝えていきたい。

Q 雲南市文化協会の設立を検討してほしい。

A 文化協会については、未設置の旧町村もあり、一本化をめざして検討しているところである。

Q 個人情報保護法が施行となったが、これについて雲南市はどういう対応をされるのか。

A 雲南市では、合併時より個人情報保護条例を制定しており、この条例に準じ個人情報の取り扱いを行っている。

Q 学校給食野菜の提供をしているが、今後どうなるのか。

A 学校給食野菜グループについては全国から年間40組以上の視察がある。これを絶やすことはない。

Q 年々鳥獣被害が拡大しているが、市の対策は。

A 対策への補助金はないが、また、対策への補助金は少ない。

Q いのしし対策の電牧等の助成制度がある。また、中山間地域直接支払い制度を利用し、檻を設置する等、集落ぐらみで取り組んでもらいたい。

その場合、資格が必要であるが、その経費も、この制度の補助対象にもなるので活用していきたい。

Q 中山間地域総合整備事業の採択の見通しは。

A 中山間地域総合整備事業については、平成18年度の事業実施をめざし努力中である。国・県の財政難から受益者負担はそのままに、事業費を半額の15億円程度に縮小し、1期工事として事業採択してもらい平成18年度から実施の予定である。